

【近畿 ESD コンソーシアム・学生による ESD 学習支援活動】

東大寺寺子屋ボランティア 活動報告

1. 日時 令和元年8月20日（火）～22日（木）2泊3日
2. 場所 華嚴宗大本山東大寺境内（大仏殿、二月堂、二月堂北参籠所および北茶所、奈良親子レスパイトハウスほか）

3. 参加者

本学学生：山之内 健人、山本 健太、山中 彩加、岡本 真実、畑下 さつき、
上田 薫、岩城 雄大、永廣 千瑛子、長滝谷 幸子、久保 かのん

近畿 ESD コンソーシアム現職教員：新宮 済（平城小学校）

本学職員：吉川俊美

4. 活動支援内容

近畿 ESD コンソーシアム構成団体である華嚴宗大本山東大寺主催による東大寺寺子屋（読売新聞社共催、奈良県・市教育委員会後援）に、本学学生10名、職員1名、近畿 ESD コンソーシアム現職教員1名がボランティアとして参加協力した。今年で6回目となる東大寺寺子屋には、これまで5年連続の参加要請を受けている。

東大寺寺子屋の参加対象は、奈良県内在住の小学5年生～中学3年生で、定員20名である。5名ずつの4グループに分かれ、東大寺若手僧侶がグループリーダーとなり、参加学生はグループサポーター、運営サポーター、調理補助として参加協力した。

2泊3日の東大寺寺子屋のねらいは、①世界遺産の東大寺に学び、日本の歴史や文化に直接触れ、奈良の良さを子どもたちに知ってもらう。②お寺での寺子屋体験を通して、気づき・学び・考えるという実践的な生きる力を子どもたちに身に付けてもらうことである。

【主な活動内容】

第1日目（8月20日・火）

13:00 開校式・オリエンテーション（スタッフ紹介およびグループ発表、レクリエーション、グループ名決定）

14:10 お経の稽古および筒井長老による法話

15:30 グループミーティング（活動テーマ・内容を決定）

第2日目（8月21日・水）

5:30 起床、境内清掃活動

6:15 屋参籠体験（二月堂⇒開山堂⇒天皇殿⇒大仏殿⇒八幡殿⇒レスパイトハウス）

8:30 グループ活動（境内フィールドワーク）

13:00 蓮のランタン作りおよびお抹茶タイム

19:00 夜の大仏殿お参り

第3日目 (8月22日・木)

9:30 一文字書道およびグループ発表

11:30 閉校式 (修了証授与、お経・如心偈奉唱、記念撮影)

食事はすべて精進料理であり、夜は蚊帳をつつて就寝するなど、普段の生活との相違に戸惑う子どもたちも、最終的には自然の風、虫の音、悠久の時間の流れを感じ取る適応力を発揮することになる。

寺子屋活動の拠点となる二月堂および参籠所においては、1260余年間一度も途絶えていない修二会が営まれている。まさしく持続可能な社会・文化・伝統の聖地と言える。それを受け継ぎ守り続ける東大寺僧侶との共同生活は、このうえなく深遠で永続的な学びを得る有難い貴重な体験となった。

敷居を踏まない、履物をそろえる、お経を大切に扱う、背筋を伸ばして正座するなど、普段の日常生活ではあまり意識されない礼儀作法が、見よう見まねにより自然な立ち居振る舞いとなってくる。2泊3日間の短期間であったが、修養の場における寺子屋活動を通して、大切に守るべき日本人の姿・心を受け継ごうとする心根が芽生えてきたように思う。

